

寒冷地仕様の装備を教えて。

C – H R

寒冷地仕様をメーカーoptionにて、ご用意しています。

選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。

なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

<○：設定あり –：設定なし>

装備	説明	寒冷地仕様	標準仕様	ハイブリッド車		ガソリン車	
				1. 8 L (2ZR-FXE)		1. 2 L (8NR-FTS)	
				2WD		4WD	
				G	S	G-T	S-T
冷却水 (LLC)	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	LLC 50%	LLC 30%	○	○	○	○
ウインドシールド デアイサー	雪だまりや凍結によりワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。(下図1参照)	あり	なし	○	○	○	○
ウインドシールド ワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用 (モーター)	標準	○	○	○	○
リヤフォグランプ	霧・雪・雨などにより視界が悪い時に車の存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 リヤフォグランプはリヤバンパー中央下に装着されます。(下図2参照)	あり	なし	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補う装置(電気式補助ヒーター)です。 エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房ができます。	補助ヒーター (PTCヒーター) あり	補助ヒーター (PTCヒーター) なし	○	○	-	-
ヒーターリヤダクト	後席の暖房効果に貢献するため、リヤシート足下に温風を送るためのダクトが設定されます。(下図3参照)	あり	なし	○	○	○	○
スターター	エンジンの始動性を向上するためスターターの容量を上げています。	1. 6 kW	1. 0 kW	-※1	-※1	○	○
ウォッシャー液 レベルウォーニング	ウォッシャー液が残りわずかになった時、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されます。	あり	なし	○	○	○	○

* バッテリーは、寒冷地仕様を手配しても変わりません。

※1 ハイブリッド車は、発電モーターを使用してエンジンを始動するため、ガソリン車のようなスターターはありません。

<上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備>

装備	説明
ウインターブレード ※2	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。 そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

※2 ウインターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合でも、選択できます。

図1

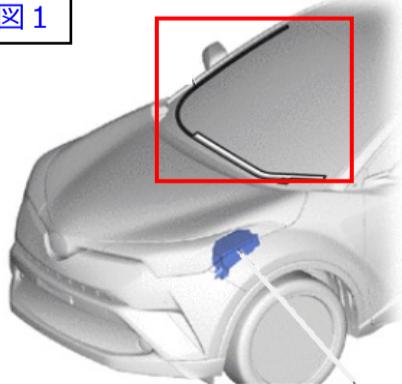


図2



図3

